

会議の名称	あま市地域包括支援センター運営協議会 書面会議
開催日時	令和2年3月27日（金）
書面会議開催の経緯について	令和2年3月27日（金）に甚目寺庁舎で行う予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面会議での開催に変更。
書面会議方法について	①返信期限（3月27日）を定め会議資料、意見書を全委員に送付する。 ②事務局は各委員からの意見をまとめ報告書を作成し、全委員へ報告を行い、ウェブサイトへ掲載する。
議題	(1) 令和元年度（平成31年度）あま市地域包括支援センター事業経過について (2) 令和2年度あま市地域包括支援センター事業計画について
資料	資料1 令和元年度（平成31年度）あま市地域包括支援センター事業経過 資料2 令和2年度あま市地域包括支援センター事業計画
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	—
委員 (全9名) 意見聴収委員	木全克己委員、富田悦充委員、渡邊剛委員、井村なを子委員、溝口日出幸委員、松本治子委員、服部章平委員、村上千代子委員、山田精二委員
事務局	福祉部高齢福祉課（地域包括支援センター）

議題1 令和元年度（平成31年度）あま市地域包括支援センター事業経過について

<p>委員からの意見及び回答について</p>	<p>【ご意見】①</p>	<p>資料1 P.14 (5) 介護者のつどいについて 年を重ねるごとに、何が変化し、これからの方向性がどうなるのか？</p>
	<p>【回答】①</p>	<p>来所者が少ない地区があり、今年度は高齢者が集まる場所や介護関係の事業所、社会福祉協議会の包括支援センター等において同事業の周知を行い参加者の増加を図った。来年度は開催時間の変更を計画している。施設利用者は市のバス利用者が多く、開催時間をバスの時間に合わせ利便性の向上を図り、より参加しやすい環境を整え参加者の増加を図る。 参加されている方々からは、身体的な介護の方法の助言や、出席することで精神的に楽になる等助かるとの声をもらっている。高齢者や認知症の方の増加に伴い、要介護者及び介護者増加が見込まれるため事業を継続していく必要がある。</p>
	<p>【ご意見】②</p>	<p>資料1 P.15 (2)(3) 一般介護予防事業について 担当講師の方は効果測定をされているのか？</p>
	<p>【回答】②</p>	<p>高齢者健康増進事業における虚弱な方を対象とした教室（はつらつ教室）は総合事業における一般介護予防事業の中の「介護予防普及啓発事業」として実施しているもので特に効果測定はしておりません。ただし、教室のプログラムの中に、「高齢者一人ひとりが、自身の体の状況を知ってもらう」ことを目的とし体力チェックを2回取り入れています。</p>

委員からの意見及び回答について	【ご意見】③	資料1 P.15 (2)(3) 一般介護予防事業について 主催者として事後アンケートをとり、参加したことで日常生活にどのような効果がみられたか？結果分析により新しい試みが必要か？このままでよいのか？
	【回答】③	年度末に教室の事後アンケートをとり、事業担当者が評価をし、次年度の検討事項としていますが、今年度は新型コロナウイルスの関係で3月の教室が中止となったため、評価ができませんでした。
	【ご意見】④	資料1 P.1 総合相談支援事業について 相談業務の新規相談者の医療機関からの相談について、内科、整形外科、歯科など相談者の内訳はどうなっているか。
	【回答】④	医療機関からの相談について9件の内訳は、表1のようになっています。

表1

医師（外科）	2件	虐待通報	1件
		介護相談	1件
看護師	1件	認知症相談	1件
病院相談員	4件	介護相談	2件
		虐待通報	1件
		施設相談	1件
その他職員	2件	認知症相談	2件
合計	9件		

委員からの意見及び回答について

【ご意見】⑤

資料1 P.3 権利擁護事業について

高齢者虐待の対応案件での「相談・通報」及び「被虐待者との関係」について内訳は？

【回答】⑤

相談・通報の内訳は、表2のようになっています。

表2

ケアマネジャー等	10件
警察	10件
医療従事者	4件
家族・親族	3件
民生委員	2件
行政職員	1件
社協職員	1件
その他	2件
合計	33件

被虐待者との関係の内訳は、表3のようになっています。

表3

息子	3件
夫	3件
娘	1件
妻	1件
孫	1件
合計	9件

【ご意見】⑥

資料1 P.7 ふれあいカフェについて

ボランティアの方が大変だと思うが担い手を増やす事はしているか。

【回答】⑥

担い手を増やすことについては、認知症サポーター養成講座を受け地域見守り協力者についてフォローアップ講座を実施し、その中で新たに認知症カフェを立ち上げた方もおられます。令和元年度（平成31年度）は初めての試みとして各カフェのボランティアの方が集まる「カフェ交流会」を開催し、お互いのカフェなどの情報交換や意見を話し合うことで、やりがいや楽しみを持って関わっていただいています。

委員からの意見及び回答について	【ご意見】⑦	資料1 P.15 関連 基本チェックリストの項目内容は？
	【回答】⑦	「基本チェックリスト」は国が示した25項目となっておりますが、あま市版として70歳以上を対象として「いきいきアンケート」を実施しております。内容については「基本チェックリスト」に加え認知症などの項目を追加し32項目となっております。別紙をご参照ください。
	【ご意見】⑥	資料1 P.15 一般介護予防事業の口腔ケアリーフレット配布について 配布だけではなくここが大事など配布時に説明も必要ではないか？
	【回答】⑥	高齢者訪問をしていただく民生委員の協議会の場において民生委員の方に依頼と共に内容の説明をさせていただいております。説明と同時に一緒に口腔体操もしており、大事な部分の説明もさせていただいております。
	【ご意見】⑦	資料1 P.15 評価について 参加数が伸び悩んでいる事業もありますが、検診や予防接種（4行目）の「検診」について病気の検診ではないので「健診」ではないか？
【回答】⑦	同時に保健医療課が主体となって特定健診を行っておりますが、評価の「検診」の字句については、健康推進課が実施する検診は「がん検診」になりますので「検診」の字句を使用しました。	
議題2 令和2年度あま市地域包括支援センター事業計画について		
委員からの意見及び回答について		議題2についてはご意見がございませんでした。